



新年のよろこび

池田悦治*

あけましておめでとうございます。

暦のあるお蔭で、毎年新しい年を迎える幸せを、今年のように強く感じたことはありません。

昨年が、政治にも経済にも、そして外交にまでも重苦しい出来事が多過ぎて、何となく暗い年でしたので、明るい新年によって、こんな空気を一扫してしまいたいと願ったからであります。

その上、例年には殆んど聞いたことのない教育界や、研究技術の社会まで大きく揺れて、直接の関係を持たない人達までが、大きな衝撃をうけております。

人命が徒らに軽んぜられる事件も多発しまして、仏教でいう末世的な気分さえなりま

した。

このような、狂おしい風潮を忘れる機会として新年をよろこびたいのであります。

誰もが、何のためらいもなく、極く素直に、おめでとうを交わせる新年は、万人が心を新たに、将来の幸福を誓い合える機会であるとも思います。ともあれ、清新で明るい社会づくりへの出発です。

協会には、35周年の新年であります。愈々一段の精進を続ける決意をいたしました。

尚この際に、本協会の設立に、非常の情熱を注がれた諸先達の意図を偲び、その経緯を辿って、別に「社団法人 生産技術振興協会の歩み」を載せています。ご高覧いただきとうございます。

*池田悦治 (Etsuji IKEDA), 社団法人生産技術振興協会理事長